

■菅原道真 学者公卿。学者仲間に出世を妬まれ、宇多天皇大抜擢後は、藤原氏に謀られて失脚、“天神様”になった。

すがわのみちざね

・ ・ ・ ・ ・ 845＝ 生、菅原是善の三男。菅原氏からは代々有名な学者が出た。

・ ・ ・ ・ ・ 854＝ 9歳：
・ ・ ・ ・ ・ 855＝10歳：詩を作り、父を驚かせたという。

人民摂政の実 858＝13歳：

鴻臚館設置・ 862＝17歳：渤海使の接伴員となり、その詩才を賞された。
・ ・ ・ ・ ・ 863＝18歳： 文章生の試験に合格。

応天門の変・ 866＝21歳：

その特待生ともいうべき文章得業生になり、

・ ・ ・ ・ ・ 870＝25歳： 最高の国家試験である方略試に合格。以後、文人官僚の道を歩み始める。

藤原良房没・ 872＝27歳：

・ ・ ・ ・ ・ 874＝29歳：従五位、

・ ・ ・ ・ ・ 877＝32歳： 文章博士となって、学者、文人としての地位を確立。

・ ・ ・ ・ ・ 881＝36歳：

私塾{菅家廊下(山陰亭・書斎)}で、父是善以上に多くの弟子を抱えるようになり、
 学者仲間に出世を妬まれ、

・ ・ ・ ・ ・ 886＝41歳： 突然、讃岐守に左遷され、現地に赴任。行動よりも知の人であったため、成果を上げられないなか、
宇多天皇即位 887＝42歳： 宇多天皇と藤原基経との間に阿衡事件が起こり、道真は基経に書状を送ってその解決に尽力する。

帰京を心待ちにしていたところ、宇多天皇が藤原氏をおさえるうえに道真を登用しようと考え、

基経関白辞任 890＝45歳：

道真蔵人頭・ 891＝46歳： *基経死去の直後に蔵人頭の重職に抜擢された。

以後、基経の子の時平と相ならんで、参議・中納言と進み、

・ ・ ・ ・ ・ 893＝48歳：私塾の隆盛が記録されている。宇多天皇は醍醐天皇に譲位の際にも道真1人を相談相手とし、

遣唐使廃止・ 894＝49歳： 遣唐大使に任ぜられたとき、行路の危険、唐の戦乱の情勢にかんがみ、遣唐使派遣の中止を申請して許され、以後遣唐使が絶えたことは有名である。

宇多上皇・ ・ 897＝52歳：時平は大納言に、道真は権大納言に任ぜられた。

当時大臣は欠員であり、時平・道真は並んで朝政統理の任にあたった。

道真右大臣・ 899＝54歳： *時平は左大臣に、道真は右大臣に任ぜられ、吉備真備以来の学界出身の大臣が生まれたが、

・ ・ ・ ・ ・ 900＝55歳：文人としても完成期に入り、「菅家文章」を編み、「菅相公集」「菅家集」と合わせて献上。 当時として実に破天荒な出世であり、藤原氏や学閥の反感は大きく、

菅原道真左遷 901＝56歳： *天皇の廃立をはかったかどで、突然大宰権帥に左遷された。以後、配所に閉居し、

道真没・ ・ ・ 903＝58歳： 怨みを残して没した。「菅家後集」を遺す。